

## 阿南市立小・中学校再編基本計画の紹介 その③

### ●学校の課題と再編による効果（後編）

令和2年3月に策定した「第3期阿南市教育振興基本計画」では、阿南市が抱える教育の課題について課題解決に向けた取組を推進することとしています。学校再編の長所を最大限に生かすことで、次のような効果が期待できます。



教育振興基本計画で推進する施策	再編による効果
心身の健康を育む教育の推進 (スポーツ活動や部活動の拡充)	学校規模の適正化を図ることにより、体育の授業での団体競技や生徒が希望する競技での部活動が行えるようになります。スポーツ活動や部活動の拡充が図られることから、運動習慣や規則正しい生活習慣の形成をより図ることが可能となります。また、スポーツ少年団等の活動の充実も期待できます。
一人ひとりを大切にする特別支援教育の推進	学校規模の適正化を図ることにより、一人ひとりを大切にする特別支援教育を推進する上で必要となる特別支援学級や通級指導教室等の受入体制の充実が図られます。あわせて、特別な支援を必要とする児童生徒のみならず、多様な児童生徒が共に学ぶインクルーシブ教育の環境を目指して取り組むことで、すべての児童生徒が互いに認め合いながら学ぶ学校づくりが可能となります。
教育環境の充実 (施設面における教育環境の充実)	本市の学校施設は、昭和50年代の児童生徒数の増加に伴い集中整備されており、施設の損傷も見受けられるなど老朽化が著しい状況にあります。学校再編により、将来を見据えた計画的な施設整備を行うことができるようになります。教育環境の一層の充実が図られるようになります。また、教育予算を効果的に活用することは、将来世代の財政負担を軽減することにもつながります。



#### 「インクルーシブ教育」について

インクルーシブ教育とは、国籍や人種、言語、性差、経済状況、宗教、障がいのあるなしに関わらず、全ての子どもに対して適切な教育的サポートを行い、可能な限り一緒に教育を受けられるようにすることです。重要なのは、個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することです。



写真と本文は直接関係ありません。

次回は、「学校再編の方法」について紹介する予定です。

※阿南市立小・中学校再編基本計画については、市ホームページに掲載しています。

